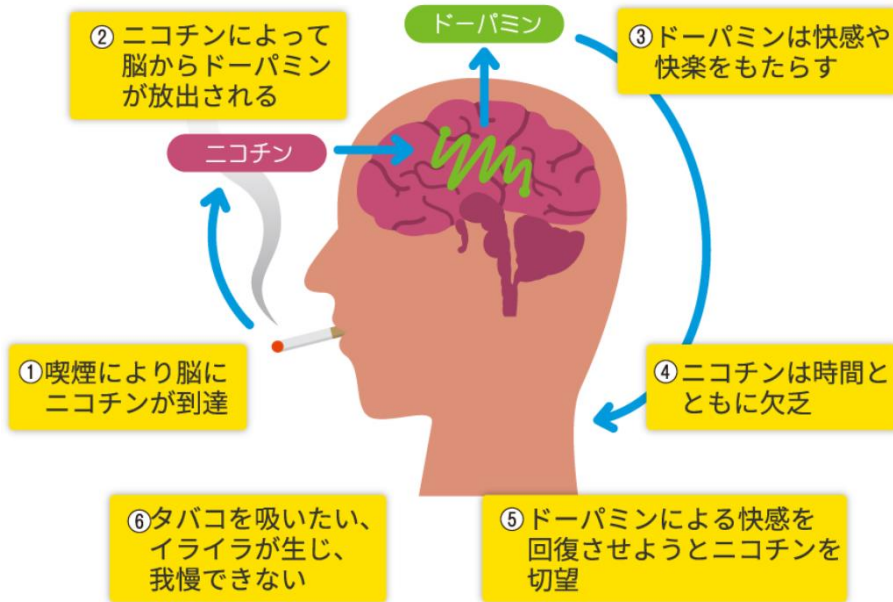


週刊 **タバコの正体**

--- タバコの煙ってどんな味？一度吸い始めるとやめられなくなるほどおいしいの？---

有害成分だらけの煙がおいしいわけがありません。それどころか吸い込んだ途端にむせ返ってしまい味なんか感じる余裕はありません。なのに、どうして吸い続ける人が多いのでしょうか。



北海道健康づくり財団 HP から

それは、左図のとおりタバコに含まれるニコチンの仕業なのです。ニコチンは脳に届くと快感や快楽をもたらすドーパミンという物質を放出させます。つまり、煙たいけれどタバコを吸うと気持ち良くなるわけなのです。このドーパミンの分泌レベルは次の図のとおり平常時の2倍を超えるのですから一度この快感を知ってしまった脳は、ニコチンを欲しがらうようになるのです。これが”ニコチン依存症”なわけです。

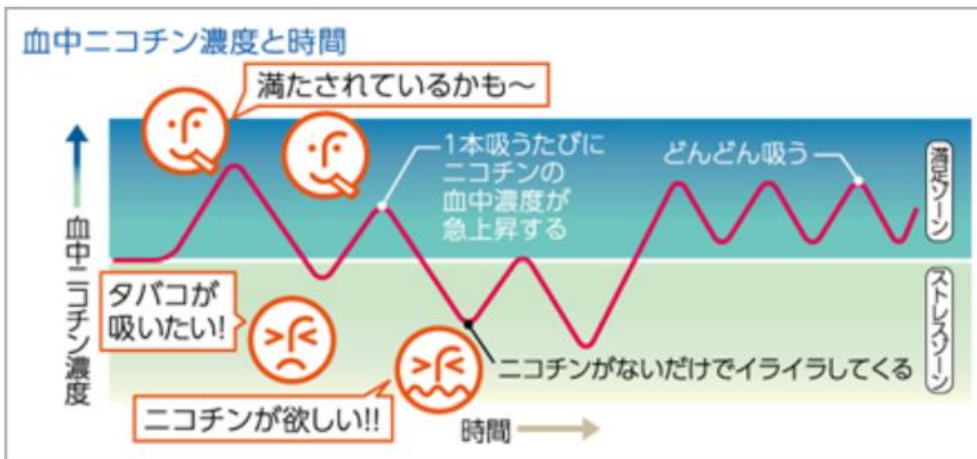
ドーパミンの分泌レベル	
平常時	100%
美味しい物を食べる	150%超
性的交渉	200%超
ニコチン	220%超
覚醒剤	1000%超

出典：アメリカ・NIDA(国立薬物乱用研究機関)

TBS ゴゴスマ画面から

すると時間が経ってニコチンが無くなってしまいう度に脳はニコチンを要求する事になり、一日に何回もタバコが吸いたくてイライラする状態になってしまうのです。

こうなると、下図のようにいつも体内にニコチンがある状態でなければ落ち着いていられない毎日を過ごす羽目になってしまいます。



アリナミン製薬(株)「からだ健康サイエンス」サイトから

これって、とても不便で面倒くさい事だと感じませんか。

産業デザイン科
奥田恭久